

平成29年度・第2学年 シラバス

情報管理科

授業科目案内

千葉県立君津商業高等学校

序

学習指導要領の趣旨を踏まえ、充実した教育活動を展開し、教育課程が円滑かつ効果的に実施できるようシラバス（授業科目案内）を作成いたしました。

シラバスは、各教科・科目の1年間の概要や特色等を中心に、定期考査の範囲や評価の方法等すべてをまとめたものです。

すべての授業について、その概要や学習内容、到達目標、評価の方法を事前に知り、その上で授業を受けることができます。特に1年間の学習内容を事前につかみ、計画的な学習をする一つの材料としてください。また、評価方法を通して、学習の成果がどのように評価されるのかを知ることができ、年間を通じてどのように学習に取り組むことが効果的なのかを見つけることができるでしょう。

目 次

I 平成28年度入学生 教育課程表

II 授業の概要（各教科・科目のシラバス）

情報管理科第2学年の授業の概要

教 科	授業科目	
1 国 語	現代文B	4
2 地 歴	世界史A	6
3 数 学	数学Ⅱ	8
4 理 科	科学と人間生活	10
5 保健体育	体育	12
	保健	14
6 外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	16
7 家 庭	家庭総合	18
8 商 業	ビジネス実務（選択科目）	20
	財務会計Ⅰ（選択科目）	22
	ビジネス情報	24
	プログラミング	26

Ⅱ 授業の概要（各教科・科目のシラバス）

情報管理科第2学年の授業の概要

平成29年度 国語科「現代文B」シラバス

単 位	3 単位	学科・学年・学級	全学科 2年 A～F組
教科書	標準現代文B (第一学習社)	副教材等	「ブライム常用国語」 (第一学習社) 「新国語便覧」 (第一学習社) 「常用漢字演習」 (東京法令出版)

1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	随想を読む1	「私」という「自分」 (鷲沢萌)	・随想の読み方を習得する。「自分らしく生きる」ことについて、自己の生き方に引きつけて考える。	・行動観察、ワークシート分析
	小説を読む1	「調律師のるみ子さん」 (いしいしんじ)	・登場人物の心情の変化を的確に読み取る。小説の基本的な読み方を習得する。	・行動観察、ワークシート分析
5	評論を読む1	「情けは人の・・・」 (俵万智)	・筆者の言葉に対するこだわりや愛着を理解し、自らの言語生活を見つめ直す。	・行動観察、ワークシート分析
6	詩を読む1	中間考査		
		詩「永訣の朝」 「そこにひとつの席が」 「この世」	・詩を読み味わう。詩に込められた作者の思いを読み取る。	・行動観察、ワークシート分析
7	小説を読む2	「沖縄の手記から」 (田宮虎彦) 期末考査	・歴史の渦に巻き込まれた人間の姿を通じて、人間の生き方について見つめ考える。	・行動観察、ワークシート分析
9	文章表現1	実用の文章 「情報の探し方」	・目的や課題に応じてさまざまな情報を収集し活用する方法を習得する。	・行動観察、ワークシート分析
	小説を読む3	「ナイン」 (井上ひさし)	・現代小説の面白さを味わい、登場人物の言動から性格、心理を読み取る。	・行動観察、ワークシート分析
10	短歌・俳句を読む1	言語活動「創作の楽しみ・短歌と俳句」 中間考査	・近現代の代表的な作者の作品を鑑賞する。具体的なテーマのもと短歌・俳句を作り、創作力・表現力を養う。	・行動観察、ワークシート分析
11	文章表現2	言語活動 「報告文の書き方」	・報告文の書き方を習得する。	・行動観察、ワークシート分析
	評論を読む2	「僕らの時代のメディア・リテラシー」 (森達也)	・論理的な文章の読み方を習得する。	・行動観察、ワークシート分析
12	小説を読む4	「相棒」 (内海隆一郎) 期末考査	・現代小説の面白さを味わい、登場人物の言動から性格、心理を読み取る。	・行動観察、ワークシート分析

1	小説を読む5	「ころ」 (夏目漱石)	・登場人物の性格・心理・行動を読み取り、その変化をつかみ、読解する。	・行動観察、ワークシート分析
2	随想を読む2	「耳を澄ませば世界は広がる」 (川島成道)	・随想の読み方を習得する。自己表現について主体的に考える。	・行動観察、ワークシート分析
3		期末考査		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、話す・聞く能力、書く能力、読む能力、知識・理解の5つの観点から総合評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しい事項など）

人間の活動の重要な部分を、言語活動が占めています。ここで学習するのは、他人の言葉を受け止め理解したり、自分の言葉で表現し自分の考えを相手に伝えていったりする土台となるものです。そのためには基本的な言葉のルールや表現方法、語彙力を身につけ、書かれた文章を正しく読解する能力を養う必要があります。しっかりと課題に取り組み、力をつけるための努力を具体的な形で行いましょう。

平成29年度 地理歴史科「世界史A」シラバス

単 位	2 単位	学科・学年・学級	全学科 2年 A～F組
教科書	世界史A (実教出版)	副教材等	世界史ミュージアム (東京法令出版)

1 学習の到達目標

- 1 近現代史を中心とする世界の歴史を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる。
- 2 現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考を培う。
- 3 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	世界史へのいざない 第1章 ユーラシアの諸文明の特質	1 文明の誕生他	世界史学習の導入として、自然環境と人類の歴史に関わる課題や日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を設定し、考察する活動を通じて、世界史学習の基本的な技能に触れ、世界史への興味・関心を高める。	地理概念定着テスト プリント又はパワーポイントなど通じてテーマの確認
		2 西アジア世界・イスラーム世界	西アジアの風土と諸民族、イラン文明の伝統、イスラームの成立と拡大などを扱い、西アジア世界・イスラーム世界の特質を把握する。	地理概念定着テスト プリント又はパワーポイントなど通じてテーマの確認。
5	第2章 ユーラシアの交流	3 ヨーロッパ世界	ヨーロッパの風土と諸民族、ギリシア・ローマ文明の伝統、キリスト教の成立などを扱い、ヨーロッパ世界の特質を把握する。	理解度確認口頭試問やノート検査 地理概念定着テスト
6		4 南・東アジア世界・内陸アジア世界 中間考査	南アジア・東南アジアの風土と諸民族、仏教の成立、ヒンドゥー教とカースト制度、イスラームの影響などを扱い、南アジア世界・東南アジア世界の特質を把握する。 東アジア・内陸アジアの風土と諸民族、漢字文化、儒教、中国を中心とする国際体制などを扱い、日本を含む東アジア世界の特質を把握する。	地理概念定着テスト プリント又はパワーポイントなど通じてテーマの確認
7		1 海と陸の交流	ユーラシアの諸地域を結ぶ海と陸のネットワークの成長を把握する。	理解度確認口頭試問やノート検査
		2 モンゴル帝国と東西の交流	モンゴル帝国の拡大とモンゴルによるユーラシアの一体化を把握する。	
		3 ヨーロッパ商業圏と東アジア海域の発展 期末考査		

9	第3章 一体化に向かう世界	1 世界の一体化の第一歩・大航海時代 2 ルネサンスと宗教改革 3 ヨーロッパの主権国家体制	ヨーロッパにおける商業圏の発展や、日本を含む東アジア海域の交流圏の成長を把握する。 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流を扱い、世界の一体化への動きを理解する。また、ヨーロッパの主権国家体制の成立について学ぶ。	地理概念定着テスト プリント又はパワーポイントなど通じてテーマの確認 理解度確認口頭試問やノート検査
10	第4章 アジアの繁栄と世界	1 アジアの繁栄・世界経済体制の形成 中間考査	アジアの諸国家の政治と社会、大西洋貿易の展開を知る。	地理概念定着テスト プリント又はパワーポイントなど通じてテーマの確認 理解度確認口頭試問やノート検査
11	第5章 19世紀の世界の一体化と日本	1 産業革命と工業化社会の成立 2 アメリカ独立戦争 3 フランス革命とナポレオン戦争 期末考査	産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展、拡大する貿易活動を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成を理解する。	地理概念定着テスト プリント又はパワーポイントなど通じてテーマの確認 理解度確認口頭試問やノート検査
12				
1	第6章 二つの世界大戦	1 激変する社会と帝国主義 2 第一次世界大戦とロシア革命 3 戦間期のヨーロッパとアメリカ 4 民族運動の高まり 5 第二次世界大戦 期末考査	輸送革命、マスメディアの発達、企業や国家の巨大化、社会の大衆化と政治や文化の変容、公教育の普及と国民統合などを扱い、20世紀という時代の特質を人類的視野から把握する。 第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考察する。	地理概念定着テスト プリント又はパワーポイントなど通じてテーマの確認 理解度確認口頭試問やノート検査
2				
3				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	世界の歴史のつながりにかかわる主題を意欲的に考察し、世界史への関心を高めようとしている。さらに、近代以降の西ヨーロッパとアメリカの諸革命と産業社会の成立、アジア諸国の内部で進行していた変化に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。
思考・判断・表現	世界の歴史を、設定された主題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。特に日本の歴史と関連付ける視点を重視している。
資料活用の技能	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
知識・理解	世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。地域紛争の原因・背景、科学技術の人類への寄与と課題などについての基本的な事柄を、人類の生存と環境、世界の平和と安全の問題と関連付けて理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しい事項など）

世界史の学習には、地理的概念の定着が不可欠である。授業時間のみならず日常生活で書籍・新聞・映画などを通じて地理的概念を含めた外国の文化を吸収してほしい。授業は基本であり、しっかりと取り組み板書や授業中に配布されたプリントなどは整理・保存しておくこと。予習をして授業に臨むことは大切であるが、世界史では復習を重視してほしい。新しい歴史的事実や考え方を曖昧にせず、積極的に質問し、疑問等を残さないようにすること。
--

平成29年度 数学科「数学Ⅱ」シラバス

単 位	4 単位	学科・学年・学級	情報管理科 2年 E～F組
教科書	「新編数学Ⅱ」(東書 数Ⅱ302)	副教材等	ニューサポート 数学Ⅱ (東京書籍)

1 学習の到達目標

高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1章 方程式・式と証明	1節 整式・分数式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・3次の乗法公式と因数分解の公式を理解する。 ・パスカルの三角形を理解する。 ・整式の割り算をすることができる。除数、被除数、商、余りの関係式から余りを求める。 ・分数式の約分や通分、分数式の四則計算を学ぶ。 ・数の範囲を複素数まで拡張し、意味を理解するとともにどのような2次方程式でも解くことができることや、判別式によって解の分類を学ぶ。 ・2次方程式の2つの解の和積が、方程式を解かず、解と係数の関係から求まることを学ぶ。 	行動観察 演習プリント分析 ワーク分析 ノート分析 小テスト
5		2節 2次方程式		
		中間考査		
6	2章 図形と方程式	3節 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・剰余の定理、因数定理を理解する。 ・因数分解や因数定理、式の特徴を利用して、高次方程式を解くことができることを学ぶ。 ・直線上の2点間の距離・内分点・外分点の意味を理解し、その座標を計算によって求めることを学ぶ。 ・平面上の2点間の距離・内分点・外分点の意味を理解し、その座標を計算によって求めることを学ぶ。 ・直線の方程式を求めることを理解し、2直線の交点を、図形との関係を明らかにしながら求める。 ・円の性質から、その方程式を求めることができる。 ・直線と円の方程式を連立させて共有点の座標を求めることができる。また、円と直線の位置関係と判別式との関連について理解する。 	行動観察 演習プリント分析 ワーク分析 ノート分析 小テスト
7		1節 点と直線		
7		2節 円		
		期末考査		
9	5章 微分と積分	1節 微分係数と導関数	<ul style="list-style-type: none"> ・平均変化率が直線の傾きに等しいことを理解する。 ・関数の平均変化率の極限值として、微分係数を求めることができる。また、グラフの接線の傾きと対比して、微分係数の図形的な意味を理解する。 ・微分係数を関数的にとらえ、導関数の定義を認識する。導関数の定数倍・和・差の公式を用いて、簡単な整関数の導関数を計算することができる。 ・接線の方程式を求めることができる。 ・導関数の正負と関数の増減との関係を理解し、関数の極大・極小を調べることができる。また、その結果を利用して、関数のグラフをかくことができる。 ・グラフをかき、関数の最大値・最小値を求めることができる。また、方程式の解の個数を調べられる。 	行動観察 演習プリント分析 ワーク分析 ノート分析 小テスト
10		2節 導関数の応用		
		中間考査		
11		3節 積分	<ul style="list-style-type: none"> ・微分法の逆演算として不定積分を理解し、整関数の不定積分の計算ができる。 ・定積分の定義を理解し、その計算ができる。 ・放物線と直線などが囲む部分の面積を定積分で表せることを理解する。また、その定積分を計算して、面積を求めることができる。 	行動観察 演習プリント分析 ワーク分析 ノート分析 小テスト
12	期末考査			

1	4章 指数関数・対数関数	1節 指数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・指数の拡張に興味をもち、指数を正の整数から整数に拡張したときにも指数法則が成り立つことを理解する。 ・累乗根の意味を理解し、簡単な計算をすることができる。 ・指数を整数から有理数に拡張しても累乗が定義でき、指数法則が成り立つことを理解する。 ・図表示などを用いて有限集合の和集合の要素の個数を、共通部分がない場合とある場合に分けて求めることを学ぶ。 ・和の法則、積の法則を認識し、樹形図や表を有効に利用しながらその総数を求める。 ・順列の意味を理解し、その総数 ${}_nP_r$ や階乗の計算ができることを学ぶ。 ・円順列や重複順列など、いろいろな順列の計算ができる。 	行動観察 演習プリント分析 ワーク分析 ノート分析 小テスト
2	数学A 1章 場合の数と確率	1節 集合と場合の数	<ul style="list-style-type: none"> ・組合せの意味を理解し、その総数 ${}_nC_r$ を、順列との関係によって求めることができる。 ・組合せの考えを、組分けや同じものを含む順列に応用することを学ぶ。 	
3		期末考査		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分、場合の数の考え方に興味をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分、場合の数の考えにおける数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察し、表現するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考える。
数学的な技能	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分、場合の数の考えにおいて、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する。
知識・理解	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分、場合の数の考えにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、数学的な見方や考え方、数学的な技能、知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・数学Ⅱの科目は商業科と異なり4単位で学習し、2年生で終了します。また進路（進学・就職）決定に関連する数学Aの内容も一部学習します。 ・数学Ⅰに続く科目であり、中でも、微分法・積分法などは高等学校で学ぶ数学の中核となる単元です。内容も一段と高度になりますが、日々の学習を大切に、よく理解できなかった箇所はそのままにせず、友人や先生に教わるように心がけてください。 ・ただ公式や問題の解き方を暗記するのではなく、1つ1つの内容を理解するよう努めてください。 ・物事を筋道立てて考えるということがとても大切です。その考え方が他の教科や社会一般の中で役立つこともたくさんあります。 ・例題を参考に積極的に練習問題等に取り組む、繰り返しのなかで理解を深めることが大切です。 ・解答の書き方は一種の自己表現です。答えに至る計算や考え方を読んだ相手に伝わるように表現してください。

平成29年度 理科「科学と人間生活」シラバス

単 位	2 単位	学科・学年・学級	全学科 2年 A～F組
教科書	「科学と人間生活」 くらしの中のサイエンス (数研出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

1. 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解する。
2. 身近な事象・現象に関する観察・実験などを通して、科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて理解を深める。
3. 科学の基本的な概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養う。
4. 科学に対する興味・関心を高める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	ガイダンス 序編 科学技術の発展 「見る」技術の広がり 第2編 生命の科学 ヒトの視覚と光	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの眼球の構造 〈実験 16 盲斑の確認〉 〈ビデオ〉 ・遠近調節 〈実験 21 明暗と瞳孔の開閉〉 〈実験 18 実際の大きさと見え方の違い〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科について学ぶべき事を理解する。 ・ヒトの眼の内部構造を理解する。 ・盲斑を検出する。 ・ヒトの視覚と光とのかかわりについて興味・関心を持つ（視覚の不確実性を理解する）。 ・遠近調節のしくみを考え、理解する。 ・光の刺激に対する反射を理解・体験する。 ・工作を通じて実感的に錯視を体験する。 ・ヒトや動物が光をどう利用しているか興味・関心を持つ。 	小テスト 行動観察 行動観察 レポート 行動観察 小テスト 工作、レポート
5	動物の行動と光 ヒトの健康と光 植物と光	<ul style="list-style-type: none"> ・光合成 ・光屈性/光周性 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物により行われるエネルギーの変換である光合成を原料、必要な光の波長、効率化への戦略等の観点から興味を持ち、植物の光の利用について理解する。 	行動観察
6	第3編 熱や光の科学 第2章 光の性質とその利用 波の性質 光の種類と性質 光の進み方 光の回折と干渉	<ul style="list-style-type: none"> ・波の要素・種類 ・光の波長と色 〈実験 分光器の製作〉 ・視覚と光の3原色 ・光の分散 〈実験 34 光の散乱〉 〈実験 見えなくなるガラス〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・光の性質を知るために一つの要素としての「波」の名称や性質についての基本概念を理解する。 ・蛍光灯のスペクトルを制作した分光器で観察し、光の波長とスペクトル、色や光の合成について理解する。 ・物の色がどのようにして生じているかについて、光の3原色や人の視覚と関連づけて理解する。また、このことが何に应用されているかを理解する。 ・物質の境界面で光が屈折・反射するときの法則を理論的・経験的に理解する。 	行動観察 小テスト 作品提出 行動観察 行動観察
7	電磁波の性質と利用	<ul style="list-style-type: none"> ・電磁波の波長と種類 〈実験 35 赤外線観察〉 <p style="text-align: center;">期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電磁波という広い概念で、可視光線や、赤外線、紫外線、電波、X線などの関係を理解し、その日常の利用、及び生物への影響などについて興味・関心を高め、理解を深める。 	ノート確認
9	元素記号と物質 第3編 熱や光の科学 第1章 熱の性質とその利用 熱と温度 熱と仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・周期表の元素を覚える 〈実験 7 物の運動の観察〉 ・拡散・熱運動と温度 ・伝導・対流・放射 ・熱平衡と熱量 ・熱容量と比熱 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子番号 20 番までの元素記号を覚え、どんなものに含まれるのか理解する。 ・観察を通して、原子や分子の熱運動と温度との関係を考え、ミクロな立場から、物質の三態変化や温度について理解する。 ・熱の伝わり方として、伝導、対流、放射について理解する。 ・熱に関する身近な現象について興味関心を高め、理解を深める。 	小テスト レポート 行動観察 レポート

1 0	エネルギーと その移り変わり	<ul style="list-style-type: none"> ・色々なエネルギー <実験 圧気発火器> <実験 シヤークン芯に 電気を通す> 中間考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事から熱等へのエネルギーの変換について学び、熱現象とエネルギーの関係について理解し、再生可能エネルギーの必要性を理解する。 	レポート 行動観察
1 1	第2編 生命の科学 第2章 微生物と その利用 1 さまざまな微生物 2 微生物と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な微生物 ・微生物の発見 ・命を支える微生物 	<ul style="list-style-type: none"> ・細菌, 古細菌, 原生動物, 菌類, ウイルスに属する微生物がどんなところにいるかわかり, 区別できる。 ・微生物と人間生活の関わりについて発見された歴史を踏まえて興味・関心を持つ。 ・日常見られる感染症について, その原因が何かを知り, それにより対処法が異なることを理解する。 ・身の回りにいる微生物が発酵食品を作ったりヒトの身体の働きを整えたり, 逆に病気を引き起こしたりすることを善悪とは違う価値観で理解する。 	行動観察 小テスト 行動観察 小テスト 班展開・行動観察 班展開・行動観察 ワークシート分析
1 2		<ul style="list-style-type: none"> ・発酵と腐敗 ・発酵食品 期末考査 		ノート確認
1	2編 物質の科学 2章 衣料と食品 2 食品 A ご飯やパンの主成分 B 肉や豆腐の主成分	<ul style="list-style-type: none"> ・デンプン・糖の検出 ・アミロースとアミロペクチン ・デンプンの消化 ・糖の検出 ・タンパク質の特徴 ・構造・検出 	<ul style="list-style-type: none"> ・三大栄養素が体内でどう変化し, 吸収されるかを理解する。 ・炭水化物(糖類)を構成する元素と組成を理解し, 検出する方法を理解する。 ・タンパク質が多数のアミノ酸分子が結合からできており, 遺伝子がその形を作り, 酵素などとして働いていることに興味・関心を持ち, 理解する。 ・脂肪と脂肪油の違いと, 安定に保存するための工夫を理解する。 ・必要な栄養素にどんなものがあり, なぜ必要なのか自分の健康を考えるために理解する。 	ワークシート分析 行動観察 レポート
2	C 油やバターの主成分			レポート 行動観察 行動観察
3	D ビタミンと無機質	期末考査		小テスト ノート確認

3 評価の観点

関心・意欲・態度	科学技術と人間生活の関わりについて興味・関心を持ち, 意欲的に探求しようとする事ができる。また, 科学的な考え方を身に付けることができる。
思考・判断・表現	自ら科学技術の発展の中にある問題性を見だし, 科学的に考察することができる。
観察・実験の技能	観察, 実験などを通して, 基本操作を身に付け, 記録, 整理ができ, 科学的に考えることができる。
知識・理解	自然と人間生活との関わりについて, 基本的な科学の概念の理解と, その応用に関して深く考えることができる。

4 評価の方法

関心・意欲・態度, 思考・判断・表現, 観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス, 授業を受けるにあたって守って欲しい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> ・演示実験などを多く用い, 実際の現象やイメージ像にふれながら授業を進めていきます。 ・随時プリントなどを配付し, 授業内容の理解を深めるよう展開します。 ・視聴覚教材やVTRを利用し, より豊かなイメージが持てるよう展開します。

平成29年度 保健体育科「体育」シラバス

単 位	2 単位	学科・学年・学級	全学科 2年 A～F組
教科書	最新高等保健体育 (大修館書店出版)	副教材等	最新高等保健体育ノート (大修館書店出版)

1 学習の到達目標

心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	「体育」について	1 オリエンテーション	・学習の意義や内容、評価の方法を学ぶ ・体育の授業の服装や遵守事項について学ぶ。	行動観察
4	体づくり運動	1 体ほぐしの運動 2 体力を高める運動	・体力の違いに配慮した補助の仕方などを学ぶ。 ・運動を継続する意義について学ぶ。	行動観察
5	球技(テニス): 男子	1 安全な準備 2 ペアでのラリー 3 ゲーム	・正しいネットの張り方などの準備の仕方を学ぶ。 ・正しいフォームを身に付け、ペアでラリーを行う。 ・レベル別にチームを組み、ゲームを行う。	行動観察 実技試験
6	柔道: 男子	1 歴史と礼法 2 受け身と基本動作 3 投げ技と試合練習 4 審判法	・相手を尊重し、伝統的な礼法を知る。 ・受け身・崩し・組み方・柔道のルールを学ぶ。 ・4つの投げ技を身に付け、試合形式の練習を行う。 ・ルールを理解し、審判が行える。	行動観察 実技試験
4	球技(バスケットボール): 女子	1 ルール説明 2 パス・シュート 3 ファウル 4 ゲーム	・バスケットボールのルールを理解し、実践できる。 ・パス・シュートの技術を身に付ける。 ・反則について理解し、審判法を身に付ける。 ・クラスをチーム分けし、ゲームを行う。	行動観察 実技試験
5				
6	ダンス: 女子	1 ダンスについて 2 基本動作 3 創作・発表	・ダンスの楽しみ方、意義を理解し、創作活動につなげる。 ・基本動作を取り入れた創作ダンスを製作し発表会を行う。	行動観察 実技試験
7	体育理論			
9	球技(バスケットボール): 男子	1 ルール説明 2 パス・シュート 3 ファウル 4 ゲーム	・バスケットボールのルールを理解し、実践できる。 ・パス・シュートの技術を身に付ける。 ・反則について理解し、審判法を身に付ける。 ・クラスをチーム分けし、ゲームを行う。	行動観察 実技試験
10				
11	球技(サッカー): 男子	1 ルール説明 2 パス・シュート 3 ファウル 4 ゲーム	・サッカーのルールを理解し、実践できる。 ・パス・シュートの技術を身に付ける。 ・反則について理解し、審判法を身に付ける。 ・クラスをチーム分けし、ゲームを行う。	行動観察 実技試験
9	球技(バドミントン): 女子	1 安全な準備 2 ペアでのラリー 3 ゲーム	・正しいネットの張り方などの準備の仕方を学ぶ。 ・正しいフォームを身に付け、ペアでラリーを行う。 ・レベル別にチームを組み、ゲームを行う。	行動観察 実技試験
10				
11	球技(テニス): 女子	1 安全な準備 2 ペアでのラリー 3 ゲーム	・正しいネットの張り方などの準備の仕方を学ぶ。 ・正しいフォームを身に付け、ペアでラリーを行う。 ・レベル別にチームを組み、ゲームを行う。	行動観察 実技試験
12	体育理論			

1	陸上競技(長距離走)	1 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会に向けた長距離走の意義・内容を理解し、実践する。 ・健康・安全を意識し、毎時間ウォーミングアップの方法を理解し、身に付ける。 ・晴天時は校外3kmコース(タイム測定)、雨天時は体育館内で30分間走を行う。 	行動観察 平均タイム分析
2		2 ウォーミングアップ		
3		3 校外3kmコース 4 体育館30分間走 5 マラソン大会		
	体育理論			※各学期において、理由があつて授業に参加できない者は、課題提出・レポート提出にて評価を行う。

3 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断	自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。仲間とともに楽しく活動している。また、問題解決に向け、互いに助言するなど工夫している。
運動の技能	運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。
知識・理解	競技方法、ルール、練習の仕方、健康・安全の確保の仕方などを理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度，思考・判断，運動の技能，知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス，授業を受けるにあたって守って欲しい事項など）

実技の活動を中心に、技能、ルール、マナー、練習法、安全確保に関する知識などを身につけます。体育理論として考え方や学習の仕方も理解していきます。 また、シャツやハーフパンツ、ジャージを忘れてしまうと授業に参加できませんので忘れ物をしないようにしてください。
--

平成29年度 保健体育科「保健」シラバス

単 位	1 単位	学科・学年・学級	全学科 2年 A～F組
教科書	最新高等保健体育 (大修館書店出版)	副教材等	最新高等保健体育ノート (大修館書店出版)

1 学習の到達目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、健康維持の為にさらに改善していく資質や能力を身につける。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第2単元 生涯を通じる健康 1 思春期と健康	1 生殖器の発達 2 思春期の不安や悩み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体の変化について理解し、説明できる。 ・ 心の発達に関わる健康課題を学ぶ。 	行動観察
5	2 性への関心・欲求と性行動	1 性意識の男女差 2 不正確な性情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性意識の男女差を知る。 ・ 性情報が行動に影響を与える例を理解し、説明することができる。 	ワークシート 分析
	3 妊娠出産と健康	1 母体の健康維持 2 母子保健サービスについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠・出産についての健康課題を学ぶ。 ・ サービスについて理解し、説明できる。 	副教材分析
6	4 避妊法と人工妊娠中絶	1 安全で確実な避妊法 2 人工妊娠中絶について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な避妊法について知る。 ・ 人工妊娠中絶の与える影響を学ぶ。 	行動観察
	5 結婚生活と健康	1 心身の発達と結婚 2 コミュニケーションが大切	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身の発達と結婚の関係を学ぶ。 ・ 健康的な結婚生活に、必要な考え方や行動を理解し、説明することができる。 	ワークシート 分析
7	6 中高年期と健康	1 中高年期の健康 2 中高年期を支える取り組み 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年をとることでの心身の変化を理解し、説明することができる。 ・ 社会的な取り組みを知る。 	副教材分析
9	7 医薬品とその活用	1 医薬品の使用法 2 医薬品の安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しい使い方を理解し、説明できる。 ・ 安全性を守る取り組みを知る。 	行動観察
	8 医療サービスとその活用	1 医療の供給 2 医療機関の役割 3 医療サービスの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割について学ぶ。 ・ 留意点を理解し、説明することができる。 	ワークシート 分析
10	9 保健サービスとその活用	1 保健行政 2 保健サービスの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健行政の役割について学ぶ。 ・ サービス活用について学ぶ。 	副教材分析
	10. さまざまな保健活動や対策	1 保健活動について 2 ヘルスプロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健活動や対策について理解し、例をあげて説明できる。 	行動観察
11	第3単元 社会生活と健康 1 大気汚染と健康	1 大気汚染とは 2 汚染物質とその影響	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原因と健康影響を学ぶ。 ・ 環境問題を理解し、説明できる。 	ワークシート 分析
	2 水質汚濁・土壌汚染と健康	1 水質汚濁について 2 土壌汚染について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原因と健康影響を理解し、説明できる。 	副教材分析
12	3 環境汚染を防ぐ取り組み	1 環境汚染の状況の変化 2 環境汚染を防ぐ取り組み 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原因と健康影響を理解し、説明できる。 ・ 環境汚染の特徴について学ぶ。 ・ 取り組みの例について学ぶ。 	

1	4 ごみの処理と上下水道の整備	1 ごみ処理について 2 安全な水を確保するために	<ul style="list-style-type: none"> ・現状や課題について学ぶ。 ・安全な水を確保するしくみを理解し、課題を説明できる。 ・対策について理解し、例をあげて説明できる。 ・消費者の役割について学ぶ。 ・健康問題の変化を理解し、説明できる。 ・労働災害の防ぎ方について学ぶ。 ・健康増進対策について学ぶ。 ・余暇について理解し、良い過ごし方を説明できる。 	行動観察 ワークシート分析 副教材分析
2	5 食品の安全を守る活動	1 食品の安全 2 行政、生産・製造者の役割 3 消費者の役割		
3	6 働くことと健康 7 働く人の健康づくり	1 健康問題の変化 2 労働災害を防ぐために 1 働く人の健康の保持増進 2 余暇について		
期末考査				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	健康の保持増進に必要な事柄について関心を持ち、協力して資料を集めたり意見交換をしたりしながら課題を見つけ、意欲的に学習しようとしている。
思考・判断	健康の保持増進に必要な事柄について、自分のこれまでの学習や体験、資料などをもとにしたり、他の人の意見や考え方を聞くなどして、課題の設定や解決方法を考え、判断できている。
運動の技能	
知識・理解	健康を保持増進するためには、適切な生活行動を選択し、実践すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解し、個人生活及び社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しい事項など）

<p>「保健」という科目は、「健康を保つ」ことを取り扱う授業で、毎週1時間の授業が行われます。健康問題がテレビや新聞等で大きく取り扱われる現状の中で、正しい情報を取り入れ、適切な生活行動を選択できるようになることが求められています。</p> <p>「保健」では、自分や家族の健康を保持増進するための基本的な事項を理解するだけでなく、日常生活の中の課題を見つけ出し解決の方法を導き出すことができるような授業を展開します。日常生活において、空気と同じようにあって当然、なくなると困るもの、それが健康です。毎日の生活の中で「体の健康」「心の健康」に目を向けましょう。</p> <p>また、授業内での教科書・学習ノートの忘れ物はしないようにしてください。さらに、考査にあたっての学習ノート・ワークシートの提出は提出期限を必ず守ってください。</p>
--

平成29年度 外国語科「コミュニケーション英語Ⅱ」シラバス

単 位	3 単位	学科・学年・学級	全学科 2年 A～F組
教科書	All aboard! English Communication II 東京書籍	副教材等	Starting Over English (京英) コーパス1800 ワークブック(東京書籍)

1 学習の到達目標

1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
2. 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	Lesson 1	My Friend in Hawaii	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハワイの写真を見たり、ハワイについてブレインストーミングをすることによって、ハワイに関心を持ち、更に、背景知識を活性化させる。 ・ 人物紹介の内容について概要を聞き取ったり、細部を読み取ったりすることができる。 ・ 人物紹介に使われる表現を理解する。 ・ 人物紹介に使われる表現を運用して、友人や家族を紹介する。 	ワークシート分析 行動観察 発表
5			ワークシート分析	
6			ワークシート分析 パフォーマンステスト	
6	Lesson 2	Streetcars in My City	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路面電車の写真を見たり、路面電車についてブレインストーミングをすることによって、路面電車に関心を持ち、更に、背景知識を活性化させる。 ・ 各国の路面電車の内容について概要を聞き取ったり、細部を読み取ったりする。 ・ 説明文に使われる表現を理解する。 ・ 説明文に使われる表現を運用して、自分の住んでいる町や学校を紹介する。 	ワークシート分析 行動観察 発表
7			ワークシート分析	
9			ワークシート分析 パフォーマンステスト	
9	Lesson 3	Crossing Language Barriers	<ul style="list-style-type: none"> ・ 腹話術師の写真を見たり、ブレインストーミングをすることによって、コミュニケーションについて関心を持ち、更に、背景知識を活性化させる。 ・ 腹話術師の経験談について概要を聞き取ったり、細部を読み取ったりする。 ・ 考えを述べるときに使われる表現を理解する。 ・ 考えを述べる表現を運用して、言語学習についての自身の体験談を表現する。 	ワークシート分析 行動観察 発表
10			ワークシート分析 ワークシート分析	
10			パフォーマンステスト	
10	Lesson 4	The Spirit of the Forest	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヤマネの写真を見たり、森についてブレインストーミングをすることによって、他の生命や環境に関心を持ち、更に、背景知識を活性化させる。 ・ ヤマネについて概要を聞き取ったり、細部を読み取ったりする。 ・ 説明文に使われる表現を理解する。 ・ 説明文に使われる表現を運用して、動物が絶滅の危機にあることを提示し、何ができるかを述べる。 	ワークシート分析 行動観察 発表
11			ワークシート分析 ワークシート分析	
11			パフォーマンステスト	
12	Lesson 5	Girl with a Pearl Earring	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名画を鑑賞することによって、芸術に関心を持ち、更に、背景知識を活性化させる。 ・ 絵画作品の説明やそれに対する印象を述べたものについて概要を聞き取ったり、細部を読み取ったりする。 ・ 説明文に使われる表現を理解する。 ・ 説明文に使われる表現を運用して、自分のお気に入りのものを紹介し、感想を述べる。 	ワークシート分析 行動観察 発表
12			ワークシート分析 パフォーマンステスト	

1	Lesson 6	Grandchildren's Restaurant	<ul style="list-style-type: none"> 高校生レストランの写真を見たり、将来の職業についてブレインストーミングをすることによって、職業観を養い、更に、背景知識を活性化させる。 	ワークシート分析 行動観察 発表
2			<ul style="list-style-type: none"> 高校生レストランについて概要を聞き取ったり、細部を読み取ったりする。 	ワークシート分析
3			<ul style="list-style-type: none"> 説明文に使われる表現を理解する。 説明文に使われる表現を運用して、理想のレストランを紹介する。 	ワークシート分析 パフォーマンステスト
		期末考査		

3 評価の観点

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
言語や文化についての知識・理解	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

4 評価の方法

コミュニケーションへの関心・意欲・態度、外国語表現の能力、外国語理解の能力、言語や文化についての知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> 授業中には様々な言語活動があります。なぜその言語活動をやるのか、その言語活動で何を習得するのかなど明確な目標を持って、積極的に参加してください。 辞書を毎時間準備し、先生の指示がなくても、分からない単語があれば調べる習慣をつけて下さい。 提出物が評価の重要な一部となります。完成度の高いワークシートの提出を目指して下さい。 ペアワークやグループワークが多くあります。協力しながら、助け合いながら、楽しみながら学ぶことのできる雰囲気作りをして下さい。 ワークシートを中心とした学習となります。ワークシートが散乱しないよう、必ずファイルを準備し管理して下さい。 自宅学習は、音読をおすすめします。授業で学んだ英文や教科書の本文を、暗記するぐらいまで声に出して何度も読みましょう。
--

平成29年度 家庭科「家庭総合」シラバス

単 位	2 単位	学科・学年・学級	全学科 2年 A～F組
教科書	高等学校家庭総合 共に生きる・未来をつくる (第一学習社)	副教材等	2017 生活学 Navi (実教出版)

1 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1章 人生をつくる 第1節 私たちの生き方と課題	1 私たちの一生と発達課題 2 青年期の課題と意思決定 3 男女の平等と相互の協力 4 仕事と生活の調和をめざして	<ul style="list-style-type: none"> 心や知性などの精神面において、人間は生涯をとおして発達していく存在であることを認識する。 青年期は、自分の存在や生き方を考え、アイデンティティを確立する時期であることを認識する。 男女平等および男女共同参画に向けての各種の法令について基本的な理解をはかる。 仕事と生活の調和をめざし、家庭生活と職業労働を両立するためには、男女がどのように協力すればよいか、その課題について考える。 	ワークシート分析 グループ討論・発表 ワークシート分析 グループ討論・発表 レポート分析
5				
6	第2節 家族・家庭と社会のかかわり	1 家族とは？家庭とは？ 2 これからの家族を考える 3 家族・家庭を守る法律 4 家族・家庭を支える社会と保障制度	<ul style="list-style-type: none"> 家族の基礎的役割とその重要性について理解する。 家族・家庭に求められている諸機能とその変化について学ぶ。 家族形態の相違による家庭生活のあり方について検討し、その多様性を理解する。 人の一生と法律とのかかわりおよび家族に関する法律について学ぶ。 国による法的な整備や地方自治体による行政措置が必要であることを学ぶ。 	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
7		期末考査	教科書 p 6～22	
9	6章 装う 第1節 人と衣生活	1 装うということ 2 季節・気候・風土と衣文化 3 衣生活の課題をめぐって 4 衣生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> 被服のもつ機能を生かした着装について考える。 世界各国の民族衣装と、日本の伝統衣装についての理解を深める。 アパレル産業の発展と、国際化している現状を理解する。 被服障害について学ぶ。 近年の消費行動と衣生活の関係性を考える。 環境に負荷を与えない衣生活行動について考える。 	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
10	第2節 被服材料	1 衣服材料の種類 2 被服材料の性能	<ul style="list-style-type: none"> 布と、その原料である繊維の種類と特徴を学ぶ。 繊維の性質や着心地の良さについて考える。 	ワークシート分析 ワークシート分析
11	第3節 被服の選択と管理	1 ライフステージと被服 2 被服の選び方 3 洗濯のしくみ 4 被服の手入れと保管	<ul style="list-style-type: none"> 衣服はライフステージによって異なることを学ぶ。 被服を購入する際のポイントを知る。 湿式洗濯と乾式洗濯のそれぞれの特性を理解し、品質に応じて洗濯することを学ぶ。 洗濯用洗剤の働きや成分を知り、環境に配慮した洗濯の工夫について考える。 	ワークシート分析 行動観察・レポート分析 ワークシート分析 ワークシート分析

1 2	第4節 被服の構成と製作	1 被服の構成と成型 2 体型・採寸と製作手順 3 被服製作の基礎 4 被服製作実習 期末考査	・被服の手入れについて学ぶ。 ・「和服」と「洋服」の違いを学ぶ。 ・採寸の方法を学ぶ。 ・被服製作に必要な基礎的な知識・技術を身につける。 ・〈実習〉手縫い・ミシン基礎縫い・小物づくり 教科書 p 140～176	ワークシート分析 ワークシート分析 行動観察・レポート分析 製作物
1 2	7章 住まう 第1節 人と住生活	1 住まうということ 2 気候・風土と住文化 3 ライフスタイルと住まい 4 これからの住まい 5 住空間を設計する 6 住まい方をデザインする	・住まいは気候や風土に応じてつくられたことを理解する。また、時代や家族のあり方と住まい方の関係を考える。 ・自分や家族のライフスタイルやライフステージにあった住まいの条件を考える。 ・住まいの中のユニバーサルデザインを学ぶ。 ・平面図を読み取り、望ましい間取りを考える。 ・インテリアの基本を理解し、居心地のよい部屋づくりを考える。	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 製作物 製作物
	第2節 快適な住まいをめざして	1 室内環境を快適に 2 住まいの安全対策 3 住まいの維持・改善 4 住生活と環境	・「住みよい環境」とは何かを学ぶ。 ・災害防止と安全管理への関心を高める。 ・住環境が整備するための工夫を学ぶ。 ・家庭内事故の防止策や、自然災害への対策を学ぶ。	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
3	4章 消費を考える 第1節 私たちの暮らしと経済	1 家庭経済のしくみ 2 家庭の収入と支出 3 家庭の経済計画とリスク管理	・家庭経済と国民経済とのかかわりを理解し、家庭の経済計画の必要性を認識する。 ・家庭の生活を支える家計の管理を学ぶ。	ワークシート分析 ワークシート分析
	第2節 消費者の権利と責任	1 消費者問題と消費者の権利 2 消費者保護から消費者の自立へ 3 契約トラブルとその対策 4 消費者信用の利用 期末考査	・消費者の権利と責任について学ぶ。 ・消費者被害の状況を理解し、予防法を考える。 ・販売方法、支払い方法に応じて、購入時に適切な判断ができる知識を身につける。 教科書 p 68～82, 178～198	ワークシート分析 ワークシート分析 グループ討論・発表

3 評価の観点

関心・意欲・態度	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。
思考・判断・表現	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などについて見直し、生活課題を主体的に解決するために思考し、適切に判断し、工夫し想像する能力を身に付けている。
技能	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。
知識・理解	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活など生活を充実向上するために必要な知識を総合的に身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・この科目は、2年生・3年生で2単位ずつ学びます。 ・教室での講義、被服室での実習、疑似体験、シミュレーション学習などさまざまな形態で授業を進めます。グループ学習も多くなりますので、協力して取り組むようにしましょう。 ・積極的、主体的に実習や体験学習に取り組ましましょう。その際は、安全等に注意し、道具や材料の取り扱いに注意しましょう。
--

平成29年度 商業科「ビジネス実務」シラバス

単 位	3 単位	学科・学年・学級	情報管理科 2年 E～F組 (選択)
教科書	ビジネス実務 (実教出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

ビジネス実務に関する知識と技術を習得させ、ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や業務の合理化の重要性について理解し、ビジネスの諸活動を円滑に行う能力と態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1部 オフィス実務 第1章 企業の組織と人間関係	1 企業の組織と意思決定 2 人間関係と仕事	・企業の組織と意思決定との関係および企業における意思決定の流れについて理解する。 ・職業人としての望ましい心構えや良好な人間関係を構築することの必要性、職場における人間関係と接し方が仕事に及ぼす影響及びチームとして働くことの意義について考察する。	ワークシート 小テスト 授業への取り組み
5	全商ビジネス文書実務検定学習	全商ビジネス文書実務検定学習 中間考査	・ビジネス文書作成の知識と技術を身につけるため、全商ビジネス文書実務検定受験を踏まえて、練習を行う。	ビジネス文書の作成
6	第2章 ビジネスマナー	1 挨拶 2 表情や身のこなし 3 名刺交換と紹介	・「ビジネス基礎」での学習を踏まえ、挨拶、応対するときの表情、受付案内、電話対応など、実習を通して取得させ実践できるようにする。	ワークシート グループワーク 授業への取り組み 資料整理の状況
7		4 来訪・来客の応対 5 電話の応対 期末考査		
9	第2部 ビジネスと珠算 序章 珠算の歴史	1 中国・明から伝来 2 江戸時代の和算『塵劫記』 3 そろばん教育の普及	・珠算の歴史、ビジネスの諸活動に必要な計算の基礎になる数の数え方、記数法、速算方法など合理的な数の扱い方、概数及び概算について理解する。 ・実際に外国のそろばんや日本で使用されてきたそろばんに触れ、関心を深める。	ワークシート 調べ学習 授業への取り組み
10	第1章 計算の基礎	1 合理的な数の扱い方 2 概数と概算	・ビジネス計算の知識と技術を身につけるため、全商珠算・電卓実務検定試験受験を踏まえて、電卓で練習を行う。	授業への取り組み 小テスト
11	全商珠算・電卓実務検定学習	全商珠算・電卓実務検定学習 中間考査	・一人一丁そろばんを使用し、珠算における正しい運司法、運珠法及び計算の基礎である四則計算を習得する。また、補数計算など珠算の活用についても触れる。	授業への取り組み 問題の進捗状況 小テスト 資料整理の状況
12	第2章 珠算	1 珠算の学習にあたって 2 加減算 3 補数計算 期末考査		
1	第1部 オフィス実務 第2章 ビジネスマナー	6 席次のマナー 7 交際のマナー	・「ビジネス基礎」での学習を踏まえ、座席配置や応対に関するマナー及び慶事、弔事、贈答など交際に関するマナーを、実習を通して習得させ実践できるようにする。	ワークシート グループワーク 授業への取り組み 小テスト 資料整理の状況
2	第4章 オフィス業務	1 業務の進行方法 2 スケジュール管理 3 オフィス環境の整備	・オフィスレイアウト及び備品などの管理を取り上げ、オフィス環境の整備の重要性について理解するとともに、情報機器の活用を含めたファイリングや名刺・切り抜きなどの資料管理の方法を習得する。	
3		4 資料管理の方法		

		5 会議 6 給与計算の方法 7 ソフトウェアの業務への活用 期末考査	・所得税の源泉徴収や年末調整などの給与計算の方法を習得する。	
--	--	--	--------------------------------	--

3 評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や、業務の合理化について関心を持ち、主体的に学習に取り組むとともに、社会人として望ましい心構えや態度を身に付けている。 ・そろばんに関心を持ち、主体的に珠算学習に取り組む態度を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの様々な場面における適切なコミュニケーションの方法やオフィスにおける合理的な業務方法を、基礎的・基本的な知識を基に、社会人として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 ・珠算における運指法・運珠法を正しく理解し、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切な計算を行うことができる。
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての基礎的・基本的な技術を身に付け、具体的なビジネスの場面において適切にコミュニケーションをとることができ、合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 ・そろばんまたは暗算に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、計算用具を合理的に使用し、その技術を適切に活用している。
知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や適切な方法、オフィス業務について基礎的・基本的な知識を身に付け、コミュニケーションやオフィス業務の重要性を理解している。 ・珠算の歴史やそろばんのしくみに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、四則計算の方法を正しく理解している。

4 評価の方法

<p>関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。</p>

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しい事項など）

<p>ビジネス実務の3分野の中から、第1部「オフィス実務」と第2部「ビジネスと珠算」の2分野を学習します。</p> <p>ビジネスにおいて、コミュニケーション能力を身につけることは大変重要です。知識を習得するために、将来仕事をしている自分を想像しながら、授業に真剣に取り組んでください。また、ビジネス実務に関する技術の習得のため、7月にビジネス文書実務検定と11月に珠算・電卓実務検定を受験させます。第2部では、実際にそろばんに触れます。どの技術を身に付けるにも、落ち着いて話を聞き、時間をかけてコツコツ努力を続けることが大切です。</p> <p>実習等を行う際には、積極的に参加するように心がけてください。</p>
--

平成29年度 商業科「財務会計Ⅰ」シラバス

単 位	3 単位	学科・学年・学級	情報管理科 2年 E～F組 (選択)
教科書	新財務会計Ⅰ (実教出版)	副教材等	最新段階式 簿記検定問題集1級会計 (実教出版)

1 学習の到達目標

1. 財務諸表の作成に関する知識や技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解する。
2. 財務諸表から得られる会計情報を、ビジネスの諸活動に活用できる能力と態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 財務会計の基礎	1 企業と会計	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計法規の必要性を理解し、その種類と内容について、概略を理解する。 ・ 企業会計原則および企業会計基準の役割と内容を明らかにし、一般原則の内容について学ぶ。 ・ これから学ぶ貸借対照表の役割や区分表示、様式など、その概略について理解する。 	行動観察
		2 企業会計制度と会計法規		ワークシート分析
5	第2章 貸借対照表	3 貸借対照表のあらまし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現金預金・受取手形・売掛金・有価証券の評価と記帳方法について学ぶ。 ・ 棚卸資産の取得原価と費用配分の原則について学ぶ。 ・ 商品評価損・棚卸減耗費の意味とその処理法及び記帳法を修得する。 	行動観察
		4 資産の意味・分類・評価		ワークシート分析
6		5 流動資産 当座資産	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資本的支出と収益的支出の意味を知る。 ・ 固定資産除却と買い換えの記帳方法を修得する。 ・ 無形固定資産の取得原価に触れ、特にのれんに関する計算と記帳を修得する。 	ワークシート分析
		6 流動資産 棚卸資産・その他流動資産		小テスト
7		7 固定資産 有形固定資産	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子会社株式・関連会社株式の期末評価について理解する。 ・ 引当金の意味を明らかにし、役員賞与引当金の記帳について理解する。 ・ 社債の発行・利払い・期末評価・償還の記帳方法を学ぶ。 ・ 長期借入金・退職給付引当金の記帳を修得する。 ・ 株主資本とそれ以外の区分の概要を理解する。 ・ 資本準備金とその他資本剰余金に関する処理方法を修得する。 	行動観察
		8 固定資産 無形固定資産		ワークシート分析
7		9 固定資産 投資その他の資産	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸借対照表の作成について、会社計算規則による場合を修得する。 	小テスト
		10 中間考査		行動観察
7		11 負債の意味と分類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期借入金・退職給付引当金の記帳を修得する。 ・ 株主資本とそれ以外の区分の概要を理解する。 ・ 資本準備金とその他資本剰余金に関する処理方法を修得する。 	ワークシート分析
		12 流動負債		ワークシート分析
7		13 固定負債	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期借入金・退職給付引当金の記帳を修得する。 ・ 株主資本とそれ以外の区分の概要を理解する。 ・ 資本準備金とその他資本剰余金に関する処理方法を修得する。 	ワークシート分析
		14 純資産の意味と分類		行動観察
7		15 資本金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸借対照表の作成について、会社計算規則による場合を修得する。 	ワークシート分析
		16 資本剰余金		ワークシート分析
7		17 利益剰余金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸借対照表の作成について、会社計算規則による場合を修得する。 	小テスト
		18 自己株式		小テスト
9	第3章 損益計算書	19 貸借対照表の作成 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 損益計算の意味を明らかにし、収益・費用の認識および測定基準、さらに、費用収益対応の原則について理解する。 ・ 売上高を計上する基準について理解し、記帳や計算などを修得する。 ・ 売上原価の意味と販売費及び一般管理費の種類について整理する。 ・ 営業外収益・営業外費用の意味・種類を明らかにする。経常利益・経常損失の意味を明らかにする。 	行動観察
		20 損益計算書のあらまし		ワークシート分析
10		21 損益計算の意味と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高を計上する基準について理解し、記帳や計算などを修得する。 ・ 売上原価の意味と販売費及び一般管理費の種類について整理する。 ・ 営業外収益・営業外費用の意味・種類を明らかにする。経常利益・経常損失の意味を明らかにする。 	ワークシート分析
		22 売上高		ワークシート分析
10		23 売上原価・販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業外収益・営業外費用の意味・種類を明らかにする。経常利益・経常損失の意味を明らかにする。 	ワークシート分析
		24 営業外収・営業外費用		小テスト

1 1	第4章 財務諸表の活用	24 特別利益・特別損失 25 損益計算書の作成 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 特別利益・特別損失の意味・種類を理解する。 損益計算書の税引前当期純利益から下の表示について理解する。 損益計算書の作成について、会社計算規則による場合を修得する。 	ワークシート分析 行動観察 小テスト
	総合演習	28 財務諸表分析 総合演習 I 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 財務諸表分析の意味・方法を明らかにする。 関係比率法・実数法による分析の種類を明らかにし、それぞれの計算方法について学ぶ。 	行動観察 ワークシート分析
1 2	総合演習	総合演習 II	<ul style="list-style-type: none"> 検定の過去問題・模擬問題を中心に一連の流れを理解する。 	ワークシート分析
1	総合演習	総合演習 II	<ul style="list-style-type: none"> 検定の過去問題・模擬問題を中心に一連の流れを学び、対策を立てながら学習する。 	ワークシート分析
2	第5章 連結財務諸表	29 連結財務諸表の あらまし	<ul style="list-style-type: none"> 親会社と子会社の意味、さらに連結財務諸表の重要性を理解する。 	行動観察
3		30 連結財務諸表の 作成 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 投資と資本の相殺消去の手続きについて、持株比率が100%の場合と100%未満の場合に分けて理解する。 	ワークシート分析

3 評価の観点

関心・意欲・態度	財務会計に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する実践的な態度を身につけている。
思考・判断・表現	いろいろな処理法や記帳法、財務諸表の作成方法について、なぜ、そのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。また、その成果を会計情報の提供という形で適切に表現することができる。
技能	財務諸表の作成に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理することができる。
知識・理解	財務諸表の作成に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、財務会計の意義や制度について理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> 作成された帳簿書類や報告式の貸借対照表、損益計算書といった財務諸表を通して、ビジネスの諸活動を数値の面から考える能力が身に付き、経営活動の状況を見る視野や考え方が広がり、21世紀を生きる有能な社会人としての能力を高めることができます。 年間の学習を通して、全商簿記実務検定試験を受験し、資格取得が可能となっていますので、自分から意欲的に勉学に励んで下さい。 検定前などは、急遽授業変更があり得ます。

平成29年度 商業科「ビジネス情報」シラバス

単 位	3 単位	学科・学年・学級	情報管理科 2年 E～F組
教科書	ビジネス情報 (実教出版)	副教材等	・全商情報処理検定模擬試験問題集 ビジネス情報1級 (実教出版) ・自作プリント

1 学習の到達目標

<p>1. 業務の情報化の必要性、情報通信ネットワークの導入と運用及びデータの保護を取り扱い、オフィス業務において情報通信ネットワークを効果的に活用するための基礎的な知識と技術を習得する。</p> <p>2. ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得する。</p> <p>3. ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなど積極的に推進する創造的な能力と態度を育てる。</p>
--

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 ビジネスと情報	(1)情報化社会とビジネス	・ビジネスと情報の関係、企業の業務システムを学び、ビジネスにおける情報活用の基礎的な知識を習得する。	ワークシート分析
5		(2)ネットワークとビジネス	・ネットワーク社会のビジネス形態の課題について学び、これに主体的に対応する態度を身につける。	ワークシート分析
		中間考査	・自作プリント、問題集	
6	第2章 情報通信ネットワークの活用	(1)ネットワークの基礎	・情報通信ネットワークを構築に関する知識を理解する。	ワークシート分析
		(2)ネットワークの構築と管理	・ネットワーク機器の導入手順やコンピュータ等の設定に関する基礎的な知識・技術を習得する。	ワークシート分析
		(3)サーバ管理	・ファイルの共有やアクセス権の設定などに関する基礎的な知識や技術を習得する。	ワークシート分析
		(4)セキュリティ管理	・セキュリティポリシーの設定やネットワークの安全性を維持するために必要な知識や技術を習得する。	ワークシート分析
7		期末考査	・自作プリント、問題集	
9	第3章 表計算ソフトウェアの活用	(1)集計処理	・ワークシート間の集計やグループ集計、クロス集計などの技法を理解する。	実習分析
		(2)オペレーションズリサーチの基礎	・オペレーションズリサーチの基礎を学習し最適の解を導き出す手法を理解する。	実習分析
		(3)ビジネス計算	・販売分析についてはグラフを用いたデータの分析方法を理解する。	実習分析
10		(4)手続きの自動化	・マクロの記録機能を用いて、手続きの自動化の考え方と方法を身につける。	実習分析
		中間考査	・自作プリント、問題集	
11	第4章 データベースソフトウェアの活用	(1)ビジネス情報とデータベース	・データベースの特徴や基本的な機能について、身近な例を示して理解する。	実習分析
		(2)データベースの利用	・データベースの実践的な活用のための知識、技術を習得する。	実習分析
		(3)SQLの操作	・SQLを用いた汎用的なデータベースの操作方法を習得する。	実習分析

1 2		期末考査	・自作プリント，問題集	
1	第5章 ソフトウェアを活用したシステム開発	(1)システム開発の基礎	・システム開発における代表的な開発モデルと，ユーザインタフェースなどに配慮した開発手法について，基礎的知識を理解する。	実習分析
2		(2)アルゴリズムの基礎	・処理を自動化するときに，処理の流れを整理するためのアルゴリズムについて，基礎的および応用的な手法を習得する。	実習分析
3		(3)表計算ソフトウェアによる開発	・表計算ソフトウェアのプログラミング機能を使用し，マクロ機能を用いた開発の基礎を習得する。マクロの記述によって，「繰り返し」や「判断」などの応用的な処理を自動化するための手法を習得する。	実習分析
		(4)データベースソフトウェアによる開発	・データベースソフトウェアを利用し，設計書に基づいて実際にシステムを構築する手法を身につける。	実習分析
		期末考査	・自作プリント，問題集	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	ビジネスの諸活動において，情報を主体的，積極的に活用し，将来，職場における情報活用のリーダーとなる意欲と態度を持っている。
思考・判断・表現	適切な手段を用いて情報を収集・処理し，要求に応じた適切なシステム開発の要件を整理するなどの思考力・判断力・表現力を身につけている。
技能	ビジネスにおける情報活用に必要な，情報の分析手法，システムの開発，ネットワークの構築などの技能を身につけている。
知識・理解	ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに，ビジネスにおける情報活用を実践するために必要な知識を身につけている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度，思考・判断・表現，技能，知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス，授業を受けるにあたって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・急速な進化を見せる情報化社会で，情報技術においては，ハードウェア技術とともにソフトウェア技術が重要であり，ソフトウェアの利用技術の習得は欠かせないものになっています。ビジネスにおいては，情報の意義や役割を理解し，その情報を適切に収集し活用できる能力が必要です。本科目では，ソフトウェア技術の習得および情報を活用する能力と態度を育てます。 ・検定前などは，急遽授業変更があります。 ・1月に全商情報処理検定ビジネス情報1級を受験します。
--

平成29年度 商業科「プログラミング」シラバス

単 位	3 単位	学科・学年・学級	情報管理科 2年 E～F組
教科書	最新プログラミング (実教出版)	副教材等	自作テキスト・自作プリント教材

1 学習の到達目標

プログラミングに関する知識と技術を習得し、プログラムの役割や重要性について理解するとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを合理的に活用する能力と態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 コンピュータとプログラミング	1 ビジネスと情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの諸活動と情報処理システムの関わりを理解する。 ・情報処理システムの機能・構成とプログラムの関係について理解する。 	ワークシート分析 ワークシート分析
5	第2章 プログラミング基礎	1 プログラミングの手順	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング言語の特徴を理解するとともに、データ処理に必要な一連のプログラミング手順を把握する。 	行動観察・ワークシート分析
		中間考査	教科書 P6～P31, 自作テキスト	
6		2 データの入出力と演算	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な技法を身につけるとともに、ビジネスの諸活動におけるプログラミングの意義について考察を深める。 	ワークシート分析・実習レポート ワークシート分析・実習レポート
7		3 アルゴリズムの表現技法	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく分かりやすいプログラムを作成する意義を理解し、各種の応用的なプログラミング技法を身につける。 	
		期末考査	自作テキスト	
9		4 条件判定とくりかえし処理	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な条件により判定を行い、処理を選択するための技法を身につける。 ・一定回数処理を繰り返すための技法及び条件に応じて処理を繰り返すための技法を身につける。 	ワークシート分析・実習レポート ワークシート分析・実習レポート
10		5 オブジェクト指向の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・オブジェクト指向に関する基礎的・基本的な知識を身につける。 	行動観察
		中間考査	自作テキスト	
11	第3章 プログラミング応用	1 配列の利用 1 次元配列の集計 線形探索	<ul style="list-style-type: none"> ・配列を利用する意義を理解する。 ・配列を利用した各種のプログラミング技法を身につけるとともに、配列の有用性について考察を深める。 	ワークシート分析・実習レポート ワークシート分析・実習レポート
12		期末考査	自作テキスト	ワークシート分析・実習レポート

1	全商情報処理検定の学習	全商情報処理検定	・全商情報処理検定プログラミング部門2級の模擬問題を学習しながらプログラミングの基礎的な技法・知識を総合的に定着する。	小テスト
2	第3章 プログラミング応用		・Mott [®] を利用する意義について理解するとともに、関数を利用するための技法を身につける。	ワークシート分析・実習レポート
3			期末考査 自作テキスト	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	コンピュータを使った情報処理の仕組みとプログラミングについて関心をもち、ビジネスの諸活動によって生じた情報を活用することを目指して主体的に取り組もうとするとともに、プログラムを活用しデータを合理的に処理し、コンピュータを効果的に活用する実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	ビジネスの諸活動によって生じた情報を主体的に活用することを目指して、プログラムを利用してデータを加工するための思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技能	プログラミングに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動によって生じた情報の活用を目的としてコンピュータの活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	コンピュータを使った情報処理の仕組みとプログラミングに関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、プログラムの意義や役割について理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しい事項など）

<p>プログラム言語を駆使したプログラミングの学習は専門性が高く、情報に関する学科以外で学ぶことは稀です。プログラミングにより、アプリケーションソフトの作り方や仕組みを学ぶことは、今後更に発展する情報化社会の中で、様々な知識・技能の土台となるものとして大変重要なものです。また、プログラミング能力を身につけることは、論理的思考を育てることもなります。この授業を学びながら、情報化社会を安全に生活できる能力を身につけてください。授業を受けるにあたり、以下のことをお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生で学習する内容は基礎的な部分です。更にプログラミングの知識・技能を高めたいのであれば、3年次も続けて履修してください。 ・検定前などは、急遽授業変更があり得ます。 ・検定試験後の学習については、国家試験であるITパスポート試験や基本情報処理試験の内容の一部を学習しますが、授業の進度によっては、変更になる場合もあります。
--